

第3学年 音楽科学習指導案

1 題材名 「五音音階で旋律をつくろう」

2 題材のねらい

- (1) 五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴に気付き、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして旋律をつくる技能を身に付ける。
- (2) 旋律や音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得る。
- (3) 五音音階の響きや即興的に旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組む。

3 題材について

(1) 児童の実態について

1年生より担当している。低学年の頃からのどれみ体操や手で音の動きを表す活動などを通して、多くの児童が上行、下行、同音などの音の動きを捉えられるようになってきた。また、歌唱の表現教材を通して旋律やリズムと曲想との関わりについて気付く児童が増えてきた。

本題材に関連する音楽づくりについては、1学期に鍵盤ハーモニカのドミソの3音でリズムを指定した8拍の旋律をつくり、音の組合せによって生まれる様々な音の動きの旋律を楽しんだ。2学期にはお囃子のリズムののってリコーダーでシとラの2音で即興的に8拍の旋律をつくった。これらの学習はいずれも使用音数が少なく音を選びやすいため、どの児童も8拍のフレーズを感じながら無理なく即興的に音を選んで表現することができた。これらの実態を踏まえ、本題材では使用音を五音音階の5音に広げ、音階の響きを感じ取りながら友達と協働して即興的に旋律をつくる楽しさを味わわせていきたい。

(2) 題材について

本題材では、ペアで即興的に呼びかけとこたえで8拍ずつ4小節の旋律をつくる。本題材で扱う五音音階は『茶つみ』などの文部省唱歌をはじめ、世界の民謡やポップス、ジャズなど幅広いジャンルの音楽で多用されている音階である。半音を含まない音階のため、素朴で耳なじみのよい響きをもつとともに、即興的に旋律をつくりやすい。

先行き不透明な時代における音楽づくりとして世界に通用する五音音階を扱うことで、民族や時代などとの隔たりを超え、様々な音楽とつながることができる。先行きが見通せない今だからこそ、身近な音楽から様々な音楽とつながる架け橋として五音音階を扱うことが大切ではないかと考え、本題材を設定した。題材のまとめとして、五音音階が扱われているポップスの曲を紹介することで、学んだことと生活や社会の中の音楽とのつながりを見い出せるようにしたい。

(3) 学習指導要領との関連

本題材は、小学校学習指導要領の以下の内容に基づくものである。

【A 表現：(3) 音楽づくり】

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的な表現を通して、音楽づくりの発想を得ること。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くこと。

(ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

ア「旋律」「音階」 イ「呼びかけとこたえ」

4 教材について

<音楽づくり>

○五音音階による旋律づくり (ハ長調のヨナ抜き「ドレミソラ」の音階をもとに)

* 4分の4拍子4小節 (A: 8拍+B: 8拍) を2回繰り返す

本題材では、ハ長調のヨナ抜き「ドレミソラ」の五音音階から音を選んで旋律づくりを行う。

<旋律づくりの条件>

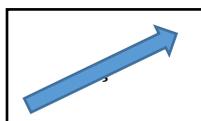
【ペアで旋律をつくる際のルール】

- ・呼びかけ、こたえの担当に分かれて旋律をつくる。(適宜交代しながらつくる)
- ・使用リズム 
- ・「こたえ」の終わりの音はド。
- ・声に出して歌える、2回続けて演奏できる旋律にする。

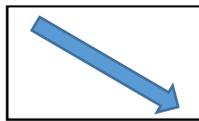
児童が生かす旋律の動きと連なり方 (音の上がり下がり)



同じ音



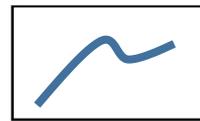
上がる



下がる



近くの音でつなぐ



遠くの音へとぶ

5 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>知① 五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。</p> <p>技① 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> | <p>思① 旋律や音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。</p> | <p>態① 五音音階の音を使って旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組んでいる。</p> |

6. 本時の評価の進め方と期待される児童の姿

【本時の評価規準】

知 五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。

【Aと判断される児童の状況】

音の組み合わせ方の特徴について、旋律の音の動き方（上行，下行）に加え，連なり方（順次，跳躍）の違いとそれらが生み出すよさや面白さと関わらせて気付いている。

【Cと判断されそうな状況への手だて】

音階シートを用いて五音音階の構成音を確認したり，音の動きを図で示したりして気付きを促す。

技 発想を生かした表現をするために必要な，設定した条件に基づいて，即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。

【Aと判断される児童の状況】

五音音階の構成音を用いて音の組合せを工夫して旋律をつくり，二人の旋律の動きを生かしてつなげたり，反復の際に旋律を変化させたりして表現している。

【Cと判断されそうな状況への手だて】

始めの音や音の動きをどのようにしたいか尋ね，教師と一緒に音の選び方を考えさせたり，ペアの友達の表現から発想を得てつくることできるように支援したりする。

7. 題材の主な指導計画（全3時間）

| 時 | ○主な学習内容 ・学習活動 | ◇教師の働き掛け◆評価規準（評価方法） |
|---|---|---|
| 1 | <p>○五音音階の響きや旋律を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハ長調（原曲）とヨナ抜き「かえるのがっしょう」の範奏を聴き，違いについて気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・使っている音に注目しながら，五音音階の曲を聴き，五つの音でできていることや使っていない音があることに気付く。 ・「夕やけこやけ」を階名唱し，音階の響きと構成音を確認する。 ・ミニキーボードに音階シートを付けて「かえるのがっしょう」を弾く。 <p>○即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の五音音階の4拍の旋律をミニキーボードで模倣する。 ・条件に基づいて個人で即興的に旋律をつくる。 ・模倣で得た発想を生かしているいろいろな音の組合せを試す。 ・拍にのり，一人ずつ自分の旋律を表現する。 | <p>◇同じ曲の音階を変えて聴き比べることで，音階による響きの違いに気付くようにする。</p> <p>◇音階シートを付けたミニキーボードを使用し，「春の小川」（2段目まで）や，「茶つみ」，「たき火」（2段目まで）などの既習曲を紹介する。</p> <p>◇ハ長調と五音音階の構成音や響きの違いを感じながら弾くように伝える。</p> <p>◇はじめの音を伝え，階名唱をしながら範奏する。</p> <p>◇少しずつ使用音や音の動きを増やし，発想を得られるようにする。</p> <p>◇階名を声に出して歌いながらつくるよう声掛けをする。</p> <p>◆旋律や音階を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え，即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>【思・判・表】（発言内容・行動観察・演奏聴取）</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>2</p> | <p>○五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の示すいくつかの旋律を模倣し、音の組合せ方（音の動き）の特徴を見付ける。 ・音の動きを考えて即興的に8拍の旋律をつくり、リレーで一人ずつ表現する。 <p>○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童と教師のペアが呼びかけとこたえでつなげた16拍の旋律を聴き、気付いたことをもとに音楽づくりの条件やフレーズのつなげ方について考える。 ・設定した条件に基づき、ペアで呼びかけとこたえを用いて即興的に旋律をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのペアの旋律を聴き、よさや面白さを伝え合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇前時の児童の旋律から、同音、上行、下行とその組合せや、隣合う音、跳ぶ音とその組合せを取り上げる。 ◇ミニキーボードを使用して伴奏を付け、児童の近くで支援する。 <p>◇終止感に着目できるような旋律を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇児童の気付きをもとに、「こたえ」の終わりの音は「ド」という条件を加える。 ◇途中で何人かの演奏を聴き、発想を共有できるようにする。 ◇ペアの旋律をつくれたら2回繰り返すよう伝える。 ◇上行の呼びかけにと下行でこたえる等、旋律の組合せを工夫しているペアや、反復の際に旋律を変化させているペアを取り上げ、発想を共有する。 <p>◆五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。</p> <p>【知】（発言内容、演奏聴取、ワークシート）</p> <p>◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ※第3時まで継続して観察する。</p> <p>【技】（行動観察、演奏聴取、ワークシート）</p> |
|----------|--|--|

| | | |
|----------|--|--|
| <p>3</p> | <p>○互いの表現を聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった旋律を思い出し，確認する。 ・旋律がまとまったらワークシートに記入する。 <p>・1 ペアずつどのような旋律ができたか伝えてから表現する。</p> <p>○五音音階と生活や社会の中の音楽との関わりについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中でよく耳にする音楽，他の国の音楽，今はやっている音楽にも五音音階が使われている曲があることを知る。 <p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通してわかったこと，考えたこと，楽しかったことなどをワークシートに記入し，友達と伝え合う。 | <p>◇前時の友達の発想を生かし，音を変えたり，新たにつくったりしてもよいことを伝える。</p> <p>◇旋律のリズムパターンは使用してもしなくてもよいこととする。</p> <p>◇自分たちの状況によって，コード伴奏【F-G-E-Am (C)】やリズム伴奏の有無を選択できるようにする。</p> <p>◇「ドラえもん」「エジソン」など子供たちにとって身近な五音音階の曲を教師がミニキーボードで演奏する。</p> <p>◇学習活動と生活や社会の中の音楽との関連を図り，自分たちのつくった作品の価値に気付くようにする。</p> <p>◆五音音階の音を使って旋律をつくる学習に興味・関心をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組んでいる。</p> <p>【態】(行動観察，ワークシート，発言内容)</p> <p>※第1時から継続。第3時で記録に残す評価とする。</p> |
|----------|--|--|

8. 本時の展開 (2/3 時間目)

(1) 本時のねらい

- ・設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりしてペアの旋律をつくる。

(2) 本時の展開

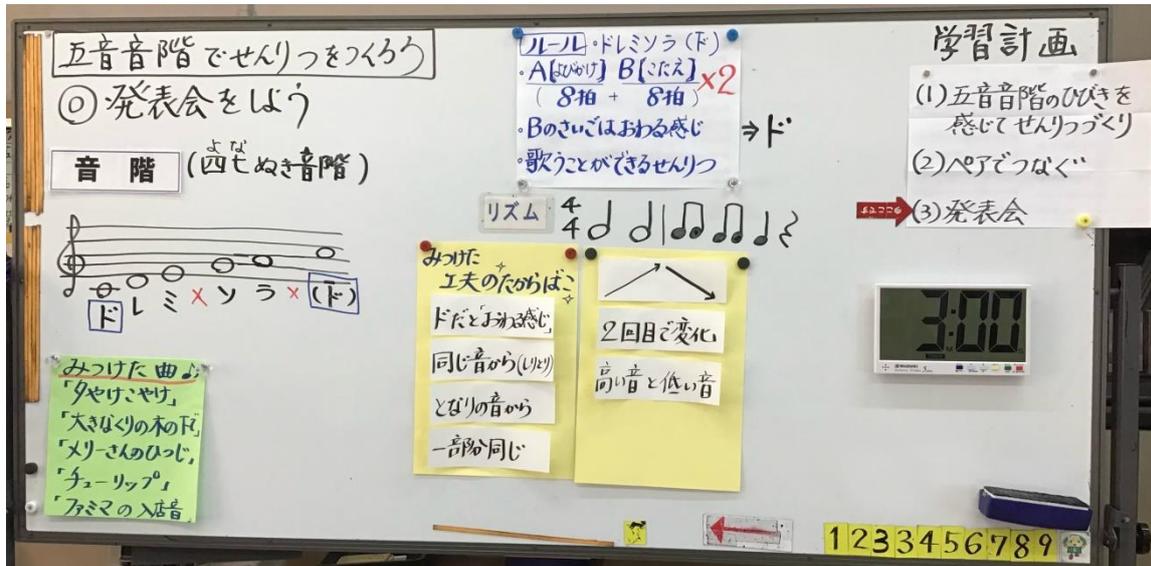
| | ○学習内容 ・ 学習活動 | ◇教師の働き掛け ◆具体的な評価規準 (評価方法) |
|-----------|---|---|
| 導入 10分 | <p>○五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。</p> <p>・教師の示すいくつかの旋律を模倣し、音の組合せ方(音の動き)の特徴を見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段みたいに順番に音が上がっている。 ・上がってから下がっていて山みたい。 ・同じ音から一気に音が上がっている。 ・2回ずつ上下を繰り返している。ギザギザ。 </div> <p>・音の動きを考えて即興的に8拍の旋律をつくり、リレーで一人ずつ表現する。</p> | <p>◇同音, 上行, 下行とその組合せや, 隣合う音, 跳ぶ音とその組合せを取り上げる。できれば前時の児童の旋律から抽出する。</p> <p>◇ミニキーボードを使用して伴奏を付け, 児童の近くで支援する。</p> |
| 展開 8分 | <p>○発想を生かした表現をするために必要な, 設定した条件に基づいて, 即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。</p> <p>・代表児童と教師のペアが呼びかけとこたえでつなげた16拍の旋律を聴き, 気付いたことをもとに音楽づくりの条件やフレーズのつなげ方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後半の人がドで終わると終わった感じが出る。 ・前半の人の終わった音と後半の人のはじめの音が同じだと, つながりがいい。 ・上がっていく旋律と下がっていく旋律を組み合わせると「ふじ山」みたいに大きな山になる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><旋律づくりのルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけ, こたえの担当に分かれて旋律をつくる。(適宜交代しながらつくる) ・使用リズム  ・「こたえ」の終わりの音はド。 ・声に出して歌える, 2回続けて演奏できる旋律にする。 </div> | <p>◇比較によって終止感に着目できるような旋律を示す。</p> <p>◇児童の気付きをもとに, 「こたえ」の終わりの音は「ド」という条件を加える。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>12分</p> <p>まとめ</p> <p>15分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・設定した条件に基づき、ペアで呼びかけとこたえを用いて即興的に旋律をつくる。 ・いくつかのペアの旋律を聴き、よさや面白さを伝え合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇途中で何人かの演奏を聴き、発想を共有できるようにする。 ◇ペアの旋律をつくれたら2回繰り返すよう伝える。 ◇上行の呼びかけに下行でこたえる等、旋律の組合せを工夫しているペアや、反復の際に旋律を変化させているペアを取り上げ、発想を共有する。 ◆五音音階の響きや旋律の音の組合せ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 【知】(発言内容, 演奏聴取, ワークシート) ◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ※第3時まで継続して観察する。 【技】(行動観察, 演奏聴取, ワークシート) |
|----------------------------------|---|---|

(3) 備考

- ・楽器はミニキーボードを使用する。音色は SA-46 デフォルトの<ピアノ>を指定して行う。
- ・ヨナ抜き音階のシートを使用し、装着の必要がなくなったら適宜外すようにする。
- ・教師が児童の近くで伴奏をする際は、ミニキーボード<31フレットレスベース>を使用。

(4) 第3時の板書写真



(5) ワークシート

五音音階でせんりつをつくろう

3年 組 番 _____

◎つくったせんりつを記録しよう

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|---|
| ラ | ラ | ラ | ラ | ラ | ラ | ラ | ● |
| ソ | ソ | ソ | ソ | ソ | ソ | ソ | ● |
| ミ | ミ | ミ | ミ | ミ | ミ | ミ | ● |
| レ | レ | レ | レ | レ | レ | レ | ● |
| ド | ド | ド | ド | ド | ド | ド | ● |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

お気に入りポイントやつくるときに考えたこと